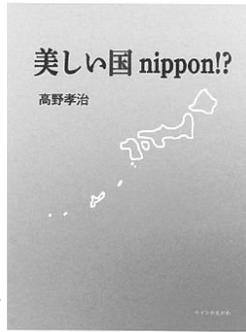


# 「美しい国 nippon!」高野孝治弁護士・著

## 本を読み終えたお2人の感想を紹介

### シリアスな内容にもユーモラスな高野節も

折々開かれる「沖繩と連帯する島根の会」世話人会の冒頭、高野孝治代表世話人からその時々の話題を話して頂いており、当初は「沖繩は基地



A5判194頁  
定価1430円

問題でかわいそう」と上から目線でみていた。回を重ねるごとに今や沖繩問題は日本全体で起きていることが分かった。「目からウロコ」の高野代表世話人の話は「世話人会だけでは勿体ない。皆さんに幅広く知ってもらおう」との意見が出され、高野代表世話人をお願いし本にまとめ、この度、皆さんにお届けされる運びとなった(2022年12月発売)。

題名は「美しい国 nippon?」nipponの後ろにビックリマークとハテナマーク。マークの意味するところが27章に分かりやすく纏められている。内容は大変シリアスでとつつきにくい、随所で「これぞ高野節」といえるような@がついた補足文がユーモラスに書かれていた。「緊張の後、高野節で緩和される」落語の「おち」のような効果があり、また簡潔明瞭で一気に読めた。

まず父からの贈呈として私の子供たちに送る。出雲中央図書館に本のリクエストをし、先日入庫の連絡あり。リクエストした都合上、図書館へ赴く。「次の申し込みがあり、返してください」のメモが挟んであり、ほんの1冊の販売ではあるが、これから拡がっていくと思うと、うれしかった。(笛吹 勇二・出雲市在住)

### 事実を突きつけながら今の日本の状況を告発

私はこの本を読み始めてから、著者・高野孝治さんの軽快で歯にもものを着せぬ文章に「えっ?」「そうだ!」と心の中で叫びながら一気に読み切りました。そして、読了してすぐ最後のページに

興奮して次のようなコメントを書きました。  
・2023年1月27日06:40読了  
・わかりやすい!  
・その通り!  
・自民党ひどい!  
・嘘と秘密のない国!にすぎない、大切!  
大切なところには8か所付箋を貼りました。驚くべき話の連続ですが、2つに絞って紹介します。

●米軍関係者による事件・事故の被害者からの損害賠償請求の裁判において、米軍側は「アメリカの利益を害するような情報は証拠として提供しな

なくともいい。そうした情報が公になりそうな場合は米軍人を証人として出頭させなくてもいい」という合意が日米合同委員会でも合意されていた(1952年)。  
●「核抑止論に取りつかれた日本政府はいまです。『北朝鮮よ、核兵器を持つな、核を放棄すること』が日朝間の話し合いの前提条件だ。北朝鮮は、言い返すでしょう。『日本よ、お前たちこそがまず核を放棄せよ。核(の傘)で脅しておきながら、核を捨てよとは笑止千万。』もっともな言い分とはいえ、相手もまた核抑止論

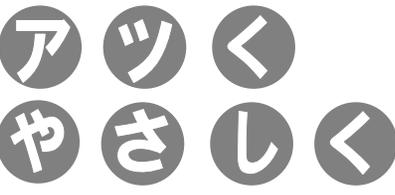
## 統一地方選で岸田ノ一の審判必ず

これまで100回、200回と様々な政府交渉を行ってきましたが、今回ほど怒りに震える交渉はありませんでし



衆議院議員 西谷 康弘

## 大平よしのぶ



2月21日、海上自衛隊から「2月27日(3月12日)まで広島湾で日米合同の軍事訓練を行う」との発表が。しかも日米の大型輸送艦とホバークラフト揚陸艦(LCAC)による敵地への上陸作戦にもつながらるまさに戦争準備の訓練です。その上「2週間のうち、いっどこでやるのか詳細は明らかにしない」ときました。そもそも広島湾というのは、アメリカが原爆を落とす大勢の人が川に飛び込んで亡くな

り、その遺体が流れこんで今もたくさん残っています。その海で米軍と軍事訓練など、これほど市民をバカにした話はありません。しかも広島湾には宮島をはじめ大小さまざまな島があり、通勤・通学の船舶、漁船や釣り船なども日々往来している小さな海です。その海で大型艦船がいつでも訓練をするかは明らかにしないなど、あまりにも危険な絶対的ありえないことでした。

こんな事態を黙って見ているわけにはいかないと3月1日に急ぎよ上京。訓練の即時中止と実施の詳細を明らかにするよう防衛省へ申し入れました。防衛省担当者からは「訓練は27日に行い、すでに終了した。輸送艦はもう広島にいない」との衝撃の答弁。さらに「事前にどこ

で訓練を実施するのかを逐一明らかにすることは問題がある。日米合意の結果を自治体に通知はした」と涼しい顔をして言うのです。その後、机をたたいて怒りの声をあげたわけですが、改めて防衛省の姿勢に愕然としました。こんな初めての事態を日米の軍軍間で勝手に決め、自治体には通知のみ。その通知も曖昧極まりなく、終わっても終わらなかつたとも言わない。アメリカいいなり、軍事最優先の思考停止ぶりはここまで来たのか、と。

岸田政権の戦争国家づくりはまさに私たちがのお膝元で進められようとしています。統一地方選でノ一の審判、必ず!

(3月21日記)

## 地域の話題

### 松江 給食費無償化を たちばな議員質す

松江市教育委員会は2023年度、給食費を値上げする方向性を示しました。

たちばなふみ市議は「教育費負担を減らすどころか、増やす施策は市の方針にも逆行する。『せめて、第3子から無償に』との声も高まっている」として、見解を質しました。

山根幸二理事は「これまでに食料費の高騰は学校給食会の基金や新型コロナ交付金を活用して補填してきた。国策として抜本的な対策が求められるが、新型コロナ交付金など財政措置がなされた場合は、市

## アソコ

### 出雲 保育士配置見直しを 川西議員が質問

川西議員「昨年、子どもへの虐待や不適切な保育が各地で発覚し、保護者や保育関係者に衝撃を与えた。低すぎる保育士の配置基準を見直すべき。」

糸原町長「国会の議論で、岸田総理からも配置基準の見直しをしっかりと考えていくとの発言もある。国の動向を注視し、適正な配置となるように配慮する。」

川西議員「学童保育の施設は、子どもたちの生活の場である。年次計画によ

### 津 地域医療対策特委 勉強会を開催

江津市議会の地域医療対策特別委員会は3月24日、浜田保健所の村下伯所長を講師に、地域医療に関する勉強会を開催しました。

村下氏は、医師不足が続く状況に対し、限られた医療資源を活用する必要があるとし、医療機関の間での役割分担により治療にあたること、地域の病院と診療所で連携すること、病棟の構成により各病院で確保できる医師数が決まることなどを述べました。

糸原町長「将来を見通し、緊急性の高いものから順次、修繕等を実施する。」(出雲町民報「より」)